

開物成務

発行責任者

逗子開成学園校友会
〒249-8510
逗子市新宿 2-5-1
逗子開成学園内
TEL.046(871)2062
https://z-kaisei.org/
E-mail:info@z-kaisei.org

題字・逗子開成学園
元理事長 徳間康快氏

「開物成務」の由来
人間性を開拓・啓発し、
人としての務めをなす

第2回ビジネス交流会を開催

川崎横浜会

川崎横浜会主催による

第2回ビジネス交流会が、中国料理・タイ料理チャイハナ(横浜市西区)にて盛大に開催されました。一昨年11月に行われた第1回目の交流会を経て、今回は昨年を上回る29名の参加者が集まり、世代や業種を超えた交流の輪が広がりました。参加者の年齢層は30代から70代まで幅広く、在学中にはなかった新たな出会いの場となりました。



交流会は葉袋校友会会長(高29回)より温かい挨拶



を頂いた後、矢込川崎横浜会会長(高42回)の乾杯の発声でスタート。

会場には久しぶりに再会する顔ぶれもあれば、初めてお会いする方もおり、会場は和やかな空気に包まれました。参加者同士は、逗子開成学園で過ごした日々を懐かしみながらも、現在の仕事や興味関心についても熱心に語り合い、話題は尽きることがありませんでした。



自己紹介の時間もしっかり設けられ、各参加者が現在の仕事内容や取り組みを丁寧に紹介するこ

とで、互いの理解が深まり、新たなビジネスチャンスや協力関係が自然に生まれるきっかけとなりました。「こんなところでつながるとは思わなかった」と笑顔で話す参加者も多く、世代や業界の壁を超えた交流の楽しさが随所に見られました。会の締めくくりは後藤前校友会会長(高19回)による挨拶で、温かい拍手に包まれました。

した。今後もこうした会が継続的に開催され、多くの縁が広がっていくことが期待されます。(高45回 村瀬 泰彦)



会報誌「開物成務」デジタル化のお知らせ

逗子開成学園校友会

日頃皆様には、校友会活動に対し、ご理解とご協力をいただきありがとうございます。校友会では、会員の皆様に会報誌「開物成務」を定期的に発行し、同窓会活動や社会で活躍する卒業生の情報、母校逗子開成学園のニュースなどをお届けしております。

しかしながら、郵送費が、現役の生徒達への支援につながります。

「逗子開成校友会ちゃんねる」チャンネル登録のお願い

校友会では個性ある卒業生の取り組みや、校友会の活動を動画にまとめて発信しています。

進行役には校友会副幹事長の野間優佑(高55回)と吉本興業所属の橋山メ

イデンさん(高58回)が軽妙なやり取りで卒業生のインタビューや現在の学校を紹介しています。

卒業生の皆様におかれましては是非、「逗子開成校友会ちゃんねる」のチャンネル登録をお願いします。皆様が見聴すること



新年のご挨拶



逗子開成学園校友会長

薬袋 純二

(高29回)

皆さま健康やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年は校友会の様々な活動にご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。活動の原資となります年会費にお

きましては前年に増しての納入、また運営充実に目途とする賛助金におきましても多数のご支援を賜り重ねて感謝いたします。昨年、各地区会活動に

おきましては会員間交流の深化、開成祭おける企画ではPTA、賛助会の皆さまとの連携強化など「オール逗子開成」としての繋がりはますます高まり、学園発展の一助に資するものと思っております。また、ホームカミングデー(卒業20年、10年の会)への参画、ビジネス交流会の開催など、校友の「永続的な絆」「会員相互の交流」を深める活動も強化しております。

令和8年は、引き続き現役生徒への各種支援(留学制度助成、クラブ活動助成、学校行事支援等)を軸のひとつとし、新たに「20歳の会」への参加など、卒業直近の会員を含むあらゆる世代における繋がりを深めて参ります。本年も、皆さまのますのご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。

校友会令和8年度総会日程のご案内
 逗子開成学園校友会、令和8年度総会の日程をご案内します。
 日時… 令和8年6月13日 土曜日
 場所… 総会 徳間記念ホール 午後2時から
 懇親会 海洋教育センター 午後4時から
 校友会が掲げて活動している変化と成長の実績



と成果、及び今後の活動計画を、多くの校友の皆様にご参加いただき、知っていただくとともに、在校生への支援・助成のご協力をお願いします。



逗子海岸を望むクルージング体験

校友会恒例、川崎横浜主催のクルージングが9月6日に開催されました。クルージングは、ヨ



ットとエンジン付きゴムボートの2艇で行われ、前日まで台風の影響で天候が心配されていましたが、当日は見事な快晴に恵まれ、絶好の航海日和となりました。

澄み切った青空の下、葉山港をゆっくりと出発し、ヨットの静かな航行とゴムボートの機動力という、それぞれの魅力を感じながら逗子湾の景色を楽しむことができました。船上では潮風が爽やかで、逗子海岸越しに見える海洋教育センターや



街並み、披露山周辺の緑が鮮やかに見えました。進むにつれて視界には裕次郎灯台(葉山灯台)も近づく、灯台付近まで来たときには、海と空が一体となり江ノ島まで見渡せる広大な景色に包まれ、台風明けとは思えないほどの穏やかさに感動しました。心地よい日差しと爽やかな風の中、参加者同士の会話も弾み、終始和やかな雰囲気の中でクルージングを楽しむことができました。

ことができました。クルージングのあとは懇親会が開かれ、食事を囲みながら校友同士が交流を深めました。世代の垣根を越えて語り合う姿も多く見られ、校友のつながりの広がりを改めて感じられるひとときとなりました。

今回のイベントは、海洋教育を重視する逗子開成ならではの特色を強く感じられるものでした。海と向き合う体験を通じて共有される価値観が、校友同士の一体感をより深めていたように思われます。(高45回 村瀬 泰彦)



「Road to 100th Concert 2026」

(現役・OB合同ステージ)

日時：2026年2月23日(月・祝日)

開場 13:30

開演 14:00

場所：横須賀市文化会館大ホール<入場無料>

「伝統の開成Soundをお届けします」

主催：逗子開成中学・高等学校吹奏楽部、同OB会



校友の輪・リレー寄稿 (第2回)

多様なものの見方を経験する学びを大切に

逗子開成学園教諭 林 晃之介(高63回)



財団職員として学芸業務に携わった経験を生かし、土曜講座では「博學連携教育」を意識した取り組みを進めています。博物館学芸員の方々のご協力を頂き、史料を読み解くワークショップや展示見学と連動した授業、フィールドワークなど、多様なものの見方を経験する学びを大切にしています。生徒が本物の史料に触れ、展示などから自分なりの興味関心の幅を広げている姿を見ると、歴史が単なる暗記科目ではなく、自分たちとつながる「生きた学問」として立ち上がっていく瞬間を感じます。

同期の新潟日報の芳本卓也君からバトンを受け取りました。逗子開成高校社会科教諭の林晃之介です。私は逗子開成在学中、野球部に所属しており、卒業後は大学・大学院で日本近世史を研究しておりました。修了後しばらくの間、公益財団法人徳川記念財団で専門職員として勤務し、財団所蔵資料の調査や保存、博物館での企画展示の業務に携わっていました。その後、ご縁があって母校に着任して八年目を迎えます。在学中にお世話になった先生方と同じ職員室で仕事をしていることは、今でもどこか不思議な気持ちですが、同時にお世話になった母校に恩返しをしたいという思いを日々強くしています。

また、現在は社会科学部の顧問として、副校長の三須浩幸先生と逗子開成OBの片山健介先生と共に、生徒たちが毎年夏合宿で訪れている福島の調査や、逗子開成の歴史を調べる活動などを行っています。生徒たちは調査の中で予想外の発見を

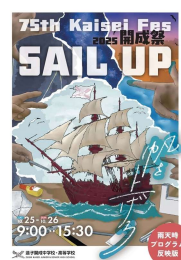


母校に戻り、学ぶ側から支える側へと立場が変わりましたが、変わらず温かく活気に満ちた校風の中で働けることに感謝しています。これからも生徒の学びを豊かにする教育を追求しながら、母校の発展に少しでも貢献していければと思っています。校友の皆様、今後ともご支援ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

次回は、同期(高63回)の高橋涼太郎君にバトンを渡します。慶應義塾大学で教壇に立っている新進気鋭の財政学者です。

2025開成祭開催

好評を得た校友会ブース



カーが配置され、雨天にも関わらず多くの生徒や来場者が長い列を作り、活気がありました。

「2025開成祭」のテーマは「SAIL UP」。このテーマには「全員で協力して開成祭を盛り上げていこう」という意味が込められています。10月25日、26日の土日の開催となりました。事前の天気予報では概ね雨の為、来場者の出足に不安がありましたが、予想を反して多くの保護者、入学希望の家族、他校の生徒達が訪れました。

生徒達は開成祭で披露するために一年間かけて準備してきたものの、ステージのプログラムは大幅に縮小された雨天時プログラムに変更して実施されました。ファイナルでは昨年復活させたみこしを熱く披露し感動を与えていました。体育館脇にはキッチン



充実した商品が並びます

校友会では開成祭に参加するにあたり、5月からPTA、賛助会、学校と協議を重ねました。今年度は海洋教育センター内の2ブロックを使用し運営を行うことになりました。



活躍する校友と学校支援の紹介

過去2年の開成祭への参加実績を元に、開成グッズの販売・展示ブース・無料で提供する喫茶の運営を行いました。グッズ販売コーナーでは安定して評価を得ている定番商品も在庫を増やし展開するとともに、開成祭に向けて新たにグッズの充実を図り、ステンドグラスはスペースが縮小しましたが、各分野で活躍するOBの紹介、校友会が行っている生徒達へのクラブ助成実績、留学生支援、校内イベントでの表彰などを紹介しました。また、賛助会の協力を得て、写真部の作品の展示とフォトカードの販売コーナーを設けました。



大好評の海を眺められる無料喫茶

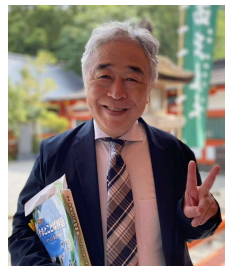
<https://www.youtube.com/@zkaisei>



喫茶の運営では賛助会の皆様に全面的に協力をいただき、不安定な天候にも関わらず昨年を上回る大勢の方に来場いただきました。無料喫茶コーナーも3年目を迎え、徐々にではありますが、認知度が上がってきていると感じています。今後も、より充実させながら学校のアピールに貢献していきたいと思っています。

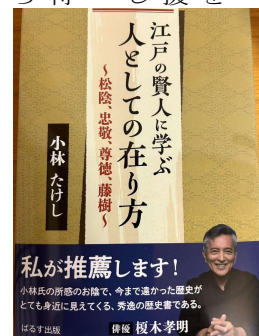
7000人以上のキャリア支援

寺子屋草莽崛起塾塾長 小林 たけし(高30回)



このたび、拙著『江戸の賢人に学ぶ 人としての在り方』の在り方『ばるす出版』を刊行いたしました。逗子開成の卒業生として、

この活動をご報告できることを大変うれしく思っております。私はこれまで国家資格キャリアコンサルタントとして、高校・大学・企業を舞台にキャリア支援を続けてまいりました。特に高校では、生徒一人ひとりが将来を主体的に考えら



自分らしい進路を見いだすお手伝いをしてきました。さらに企業研修や公開セミナーでは、社会人がキャリアを更新し続けるためのヒントを伝える活動を行っています。これまで延べ7000人以上の方々と向き合ってきた経験は、私の人生そのものを豊かにしてくれています。

そうした実践の中で痛感するのは、「どの時代も、人としての『在り方』を込めています。そして今、改めて母校

・逗子開成で学んだ「自主独立の精神」と「仲間と共に挑戦する力」が私に力を与えています。性を感じて大きく羽ばたけるよう、微力ながら尽力してまいります。

彫刻家 宇野 務(高28回)

1957年東京都生まれ、多摩美術大学卒業、同大助手を経て文化庁在外研修員としてイタリアへ、多摩美術大学彫刻科非常勤講師、東海大学建築科非常勤講師、東海大学教養学部非常勤講師等を歴任。彫刻、アートワークを多数手がける。現在、日本美術家連盟会員、二科会会員



モニュメント経歴

- | | |
|-------------------------------------|--|
| 1985年・モザイク壁画レリーフ制作(昭和女子大学) | 1995年・星座のモニュメント(千葉県 幕張メッセ) |
| 1985年・シルクロードのテーマによるレリーフ制作(ミサワホーム) | 1997年・木更津甚句のモニュメント(千葉県 木更津市) |
| 1987年・弓と青年(長野県更埴市) | 1999年・コアラのモニュメント(千葉県 佐倉市) |
| 1987年・『ふれあい』(千葉県君津市) | 1999年・409 モニュメント(千葉県 木更津市) |
| 1990年・水の精(千葉県富津市) | 2000年・花(少女像)(神奈川県寒川町) |
| 1991年・SINDACO(市長の肖像)(ITARIA ROMA) | 2001年・白浜音頭頭彰碑(千葉県) |
| 1992年・ピットリオ氏婦人像制作(ITARIA ROMA) | 2002年・ジョギングロード完成記念碑(千葉県佐倉市) |
| 1993年・宮沢 賢治像制作(岩手県盛岡市材木町) | 2006年・「栄光の道」(京成線佐倉駅前設置) |
| 1993年・バレーボール全日本優勝記念レリーフ制作(東亜学園 練馬区) | 2006年・千葉ロッテマリンズ優勝記念モニュメント(千葉ロッテマリンズ球場) |
| 1993年・『響』(彫刻噴水制作)(大同特殊製鋼株式会社) | 2021年・消防シンボル塔(成田市) |
| 1994年・南総見八犬伝モニュメント制作(千葉県 安房) | 2021年・二宮金次郎夫婦像(ミナカ小田原駅ビル 金次郎広場設置) |
| | 2024年・加山雄三像 茅ヶ崎市役所設置 |



加山 雄三像 茅ヶ崎市役所(2024年)



宮沢 賢治像制作 岩手県盛岡市材木町(1993年)



二宮金次郎夫婦像 ミナカ小田原駅ビル(2021年)

バーベキューで楽しみました

湘南会主催バーベキューイベントを、2025年10月4日(土) 藤沢市遠藤の弁慶果樹園で開催しました。

湘南台駅、藤沢駅、辻堂駅の各駅からバス利用と、都会の喧騒から離れた会場ででしたが、多くの参加者が集い一日を楽しみました。当日はマリリンのマジックショーで盛り上がりしました。



第10回 令和7年 八方尾根慰霊登山

7月31日から8月2日の日程で「白馬八方尾根遭難事故慰霊登山」を行いました。今回は、高19回の後藤前校友会会長、高29回の葉袋校友会会長、大須賀さん、宇野さん、山本、高41回の矢込さん、高55回の野間さんの合計7名での実施です。

45年のため、白馬山麓に佇む長谷寺(ちようこくじ)の現住職に読経していただき、遭難事故でお亡くなりになった6名の御霊の供養を行いました。

2日目はいよいよ慰霊登山です。宿泊施設での朝食を済ませ、ゴンドラ、リフトを乗り継ぎ、八方ケルン(通称・開成ケルン)を経由して八方池までの行程で、片道1時間強の登山となります。今年も幸い天気も良く、ただ若干雲が出ていたため右手に見える白馬三山も見えたり雲に隠れたり状況でした。昨年に比較すると、白馬三山に残っている雪も多いようで、私たちが進んでいた登山道近くにも数カ所に雪が残っていました。

今回参加した後輩たちと話す中で、ボート遭難事故については話を聞いているが、この白馬での遭難事故についてはあまりよく知らないとのこと。そのため、来年以降も若い世代の方々にも積極的に慰霊登山に参加していただき、我々がこの悲しい事故を若い世代に伝えて行く役目を担わなければならぬと深く感じました。冒頭にも書きました通り、今年は7名での実施でしたが、昨年の慰霊登山に参加され、その約3ヶ月後に惜しくも亡くなられた高41回の佐藤さんもきっと一緒に参加されていたことと感



じております。
なお、今回の慰霊登山の様子は、YouTubeの「逗子開成校友会ちゃんねる」でもご覧いただけます。
山本 隆(高29回)

高16回『海原会』 が開催される

令和7年11月1日(土曜日)12時より母校逗子開成学園海洋教育センターにて好天の中、23名の参加の下、和気あいあいと開催されました。

傘寿を迎え、足腰に不自由な人も多く、集場所も二ヶ所。会場直行組と京急逗子葉山駅・JR逗子駅前タクシー乗場前に。タクシー代も乗合で会費内と枠な計らい。料理と飲み物は同期の仲間

のお店から調達。小田原鴨宮の割烹料亭『かどまつ』から特製仕出し弁当、嬉しい事におかみさんより新鮮美味なお刺身の差し入れ。飲み物は鎌倉御成の老舗酒店『高崎屋』大木貞雄君の計らいで格安に。まずは逗子の海を見ながら『記念写真』。会は同期の仲間での一年で亡くなった野球部の田中俊夫君とヨット部の堀善興君、そして多くの

仲間の物故者を偲びながらの黙とうからスタート。司会進行はヨット部の大須賀利治君と葉山滋君。中村仁君の開会のことば、野崎勇実行委員長挨拶、乾杯から食事タイム。仕出し弁当の中身の多さに驚きの声、お刺身は個々にパック容器に入れ、安全のため氷詰め、仕出し弁当と共に、門松正君のご長男が保冷庫で会場まで。更に、開会まで待機のおもてなしの心一同感謝の気持ちで拍手。二段お重とお刺身を味いながらセルフサー

ビスで飲み物コーナーを往来。
懇談から近況報告、年相応に身体への転みを話す仲間の多さに傾く面々。脳梗塞の患者が数人も、これにはビックリ。時間制限の無い会場ゆえに、海に面したベランダでグラス片手に青春真っ只中の高校時代の思い出話に時を忘れて会話は弾む。幹事の「ぼちぼち」の声に室内へ戻り、会計報告が藤沢宏恭君から「母校に些少ですが寄付をし、剰余金一万円を余興に使

い、繰越金無しでご了承

ください」に拍手。余興担当の山中好寛君と土屋健彦対の好リードで「じゃんけん大会」。5回か6回の「じゃんけん」は大盛り上がり、勝利者へのポチ袋は「ほんのきもちです」と遊び心満載。

開会から3時間半、事務局の私が「次回開催は令和8年10月の開成祭に合わせ11時に母校正門の「真白き富士の根」の碑前に全員集合、中学・高校生の展示やアトラクションを見学後に懇親会を逗子市内のお店で開催したい」旨の提案を拍手で

了解を得る。ソングリーダーの佐々木昂君と大木貞雄君により校歌と応援歌を大合唱、鈴木克幸君の来年の再会を誓うの閉会の挨拶で開きとなりました。

飯島 忠義
(高16回)



おくやみ

ご遺族や各地区会などから寄せられた計報です。謹んでお知らせします。

高21回	河野 基充さん
高19回	比佐 茂さん
高18回	国米 和久さん
高16回	赤羽 郁夫さん
高15回	亀井 正輝さん
高11回	田口 穰一 郎さん
高6回	川名 勇さん
高8回	小泉 八郎さん
旧38期	伊藤 計次さん
高8回	諸星 賢一さん
高11回	川名 勇さん
高15回	田口 穰一 郎さん
高16回	亀井 正輝さん
高18回	赤羽 郁夫さん
高19回	比佐 茂さん
高21回	河野 基充さん

校友会への
賛助金の御礼

令和7年度の賛助金のお
願いに対して多くの皆さま
からご賛同をいただきました。
た。

昨年9月末までの集計
で、265名の皆さまから
総額120万円余りのご協
力をいただき、感謝し厚く
御礼申し上げます。

お預かりした賛助金は逗
子開成で学ぶ生徒への支援
に有効に活用いたします。
下記に示したクラブ活動助
成、海外留学支援の他にも
卒業生、入学生への記念品
の贈呈、学内の各種大会や
コンテストへの記念品の贈
呈など様々な行事に役立て
ます。

なお、ゆうちよ銀行払込
票にお名前掲載「可」とさ
れた方、会費ペイにより払
い込まれた会員の皆さまの
お名前を掲載しました。

お名前の掲載を希望され
なかった方については、卒
業期別に「匿名」としてい
ます。

旧制中学38期
(1944年3月)

市川 康平

旧制中学42期
(1947年3月)

渡部 泰

旧制中学43期
(1948年3月)

岩澤 稔

高3回(1951年3月)

藍澤 存

岡崎 壽

匿名Ⅱ1名

高4回(1952年3月)

小倉 重一

小石 幸雄

鈴木淳之介

高5回(1953年3月)

石井 照之

嶋村 忠雄

高6回(1954年3月)

我妻 定則

片岡 喜光

木村 英雄

高橋 誠

満尾 貞孝

匿名Ⅱ1名

高7回(1955年3月)

浅野 敏明

五十嵐次人

鈴木 哲

林 徹弘

広沢 章右

高8回(1956年3月)

富田 寿一

馬淵 圭包

山崎 隆

高9回(1957年3月)

河野征一郎

鈴木 安之

森野 智久

高10回(1958年3月)

長橋 正明

廣木 忠厚

山本 博紀

高11回(1959年3月)

小菅 一良

斎藤 章

白鳥 進治

鈴木 邦昭

高橋 進

渡辺 直

高12回(1960年3月)

加藤 吉彦

武田 守征

田中 一久

渡邊 忠貴

高13回(1961年3月)

秋山 德行

石川 康雄

小川 政勝

清田耕一郎

國松 和夫

高木 太郎

高橋 和雄

辻村 朗

二ノ宮健志

萩原 孝

匿名Ⅱ2名

高14回(1962年3月)

綾部 一夫

岡本 重男

鈴木 良久

藤井 勲

松下 昭夫

匿名Ⅱ1名

高15回(1963年3月)

浅見 武

一柳 勇

仙庭 章

田口 信行

八巻 丈和

山岡 克弘

結城 正純

高16回(1964年3月)

青木 勝重

石川 芳彦

金子 直之

亀井 正輝

斎藤 隆夫

杉山 圭一

中村 仁

長谷川 眞

服部 圭介

森 孝太郎

鈴木 克幸

高17回(1965年3月)

荒居 達雄

飯島 薫

河内 昭宏

小島 衛

志村 政俊

武田 透

根岸 一彦

和田 敏之

匿名Ⅱ3名

高18回(1966年3月)

赤穂 一義

有馬 三郎

落合 和仁

蒲谷 幸一

佐脇 進

佐々木 裕

城田 重男

鈴木 邦夫

鈴木 浩一

鈴木 勉

広瀬 宗明

福井 宏

三田村伸生

水戸部 治

匿名Ⅱ2名

高19回(1967年3月)

倉田 純男

後藤 寿一

小山 行雄

斉藤 一雄

早乙女節夫

笹谷 重嘉

栗原 富男

大胡 精作

内藤 克己

原田 正幸

比嘉 文男

比佐 茂

高20回(1968年3月)

愛甲 茂

牛尾 隆之

江川 貢

小磯 滋

佐々木秀一

高橋 憲司

高橋 満

山根 孝

匿名Ⅱ1名

高21回(1969年3月)

石井 博

岩堀 恭一

小室 武利

斉藤 善孝

島津 義久

鈴木 教文

田中 文隆

高岡 武

高杉 茂

徳増 勲

畑野 英司

松野 茂

匿名Ⅱ1名

高22回(1970年3月)

石川 良男

植松 秀夫

菅原 亨

田中 龍彰

堤 英俊

西原 日文

福本 藤彦

三留 寿一

匿名Ⅱ2名

高23回(1971年3月)

小川 和美

平野 滋

道山 俊一

李 国超

湯浅 辰夫

高24回(1972年3月)

古谷美佐雄

前田 一幸

臼井 卓三

熊谷 良勝

高25回(1973年3月)

岡村 直樹

高階 勝

小生 高弘

畑 恒雄

匿名Ⅱ2名

高26回(1974年3月)

青木 勇

石黒 昭一

金子 定信

望月 朗

阿部 聰

匿名Ⅱ1名

高27回(1975年3月)

笠原 龍夫

峠 秀隆

林 順

山下 淳夫

吉川 秀人

吉田 精之

西城 達典

匿名Ⅱ1名

高28回(1976年3月)

鈴木 一欣

福岡 隆夫

高29回(1977年3月)

上床 貴庸

上野 宏史

牛尾 貢

宇野 一成

大澤 恵一

大須賀裕司

加賀谷 環

荻部 司

小池 隆興

薬袋 純二

匿名Ⅱ1名

高30回(1978年3月)

大久保正男

小川 操

渡久地政彦

西山 克己

山本 寛

結城 博之

中島 久和

第17回校友会 ゴルフ大会開催

2025年10月21日、葉山国際カンツリー倶楽部エメラルドコースにて開催しました。参加者は16名となり、過去最少でした。当日の天気は昨年の雨中のプレーとは違い、心地よい秋風の中でのプレーとなりました。

優勝はグロス95、ネット68、6で、高16回の鹿島忠彦さんに輝き、理事長杯とともに写真に納まりました。後日レプリカをお送りしました。

ここで校友会ゴルフ大会の現状を述べさせていただきます。コロナ禍前は平均して50名近くの参加者を得ていましたが、コロナ禍明けの第15回大会39名、第16回大会24名そして今回第17回大会は前述通り16名でした。大会と銘打って開催するには4組以上が望ましいと葉山国際カンツリー倶楽部との認識となっています。以前は葉山国際カンツリー倶楽部様にはプレー代金

を含めたサービスや実プレーの配慮等大変お世話になっておりました。逗子開成学園校友会のゴルフ大会は、学園所在地に隣接する葉山国際カンツリー倶楽部で開催しようと思いついていました。よって、これ以上の参加者減では大会のお願いが出来ない状況となりそうです。

そこでゴルフがお好きな方、伝統ある逗子開成校友会ゴルフ大会にご興味をお持ちいただいた校友の方は、2026年7月に発行されます会報「開物成務」に開催案内や申込窓口等を含めたサービスや実プレーの配慮等大変お世話になっておりました。逗子開成学園校友会のゴルフ大会は、学園所在地に隣接する葉山国際カンツリー倶楽部で開催しようと思いついていました。よって、これ以上の参加者減では大会のお願いが出来ない状況となりそうです。



参加者卒業期内訳					
卒業回	卒業年	人数	卒業回	卒業年	人数
高10回	1958年	1	高17回	1965年	3
高11回	1959年	1	高39回	1987年	1
高13回	1961年	1	高41回	1989年	1
高14回	1962年	1	高43回	1991年	1
高16回	1964年	5	高55回	2003年	1

今回の大会の様子はYouTube「逗子開成校友会ちゃんねる」で視聴できますので是非ご覧ください。



高31回 (1979年3月) 伊東 昇
高32回 (1980年3月) 石川 重樹
匿名11名
高34回 (1982年3月) 今澤 直路
高35回 (1983年3月) 犬飼 洋一
酒井 猛寿
宮寺 透雄
山田 直弘
米山 裕二
高36回 (1984年3月) 山崎 博樹
高37回 (1985年3月) 麻生 義和

網倉 大介
高38回 (1986年3月) 沼上 正人
峰 直慶
山下 広明
高40回 (1988年3月) 小林 剛
古橋 宏之
高41回 (1989年3月) 伊波俊之助
川手 健治
本木 正吉
矢村 智彦
高42回 (1990年3月) 鈴木 薫
匿名11名
高43回 (1991年3月)

野中 崇
山口 靖之
高44回 (1992年3月) 太田 健夫
直井 康真
高45回 (1993年3月) 原 宜大
高47回 (1995年3月) 武内 慶太
西 剛広
高49回 (1997年3月) 宮城 悠哉
高51回 (1999年3月) 匿名11名
高53回 (2001年3月) 青木 康典
高54回 (2002年3月)

高橋 渉
高56回 (2004年3月) 小林 大晃
花岡 祥平
匿名11名
高60回 (2008年3月) 矢部 佐理
匿名11名
高62回 (2010年3月) 竹永 章正
匿名11名
高64回 (2012年3月) 富田 大輔
高65回 (2013年3月) 匿名11名
高66回 (2014年3月) 澁谷 直樹

高67回 (2015年3月) 川口 文岳
下津 康平
渡邊 圭一
高68回 (2016年3月) 有我 俊一
高70回 (2018年3月) 匿名11名
高71回 (2019年3月) 児玉舜太郎
宮部 人輔
高72回 (2020年3月) 中西 令
匿名11名
高73回 (2021年3月) 高橋 琉佳
逗子開成学園賛助会

柳瀬 頼義

(敬称略)

10月以降に賛助金を払い込みいただいた皆さまのお名前は、今後の紙面で報告いたしますので、引き続きご協力いただきましたら幸いです。

◇

今後、賛助金をゆうちょ銀行から払い込まれる際は、郵便局の青い払込取扱票をご利用いただき、次の校友会本部口座宛にお願いいたします。

口座記号

0028010

75891

加入者名

逗子開成学園校友会

また、クレジットカード、口座振替、コンビニ決済を利用して払い込みされる場合は、左の二次元コードからお願いいたします。



校友 ゆう・ゆう
クロスナビ

校 友 は、あ ら ゆ る 分 野 で 活 躍 し て い ま す。こ こ に 掲 載 し た 校 友 以 外 に、校 友 会 ホ ム ペ ー ジ (<https://z-kaisei.org/>) に こ れ ま で 会 報 に 掲 載 し た 様 々 な 業 種 で 活 躍 す る 校 友 を 紹 介 し て い ま す。「お い し い 料 理 が 食 べ た い な …」「こ の 頃、身 体 の 調 子 が 悪 い ン だ け ど …」「こ ん な 時 は ど う す べ ば い い の か な ?」…お 店 選 び、日 々 の 暮 ら し な ど で 迷 っ た 時 に 活 用 し て く だ さ い。た だ し、割 引 や 特 典 は 紹 介 し て い る 以 外 は、校 友 だ か ら と 過 度 な 要 求 は ご 遠 慮 下 さ い。

OptiVet株式会社
隅蔵 亮(高61回)



逗子開成が100周年を迎えた2003年に入学し2009年に卒業しました。卒業後は東京理科大学に進学し、大学院まで修了してトヨタ自動車(株)に就職しました。逗子開成の同級生が3人も同時に院卒入社していたのを知ったときには驚きました。トヨタ自動車では、4年間は愛知県豊田市の本社で車の安全を守るための制御開発や車を使わずに性能を評価するシミュレーション技術の開発を行っていました。次の2年間は静岡県裾野市にある東富士研究所に異動し、自動運転制御の開発やテストドライバーに従事しました。

トヨタ自動車は6年少々で退職し、ペット関連事業で独立しました。実は高校時代に獣医師を志していたものの諦めてしまったので、獣医師と仕事をしてみたいという想いからでした。

最初はペットの病気に関するオンライン相談サービスを作り、例えばペットの皮膚に関する相談であればペットの皮膚科疾病に詳しい獣医師が精度の高い回答をしてくれるという素晴らしいプラットフォームとなりました。

実は獣医師にも得意領域があったり特定科目の学会認定医等があり、全ての科目において高い専門性を持っているという先生はめったにいません。なので、動物医療においても人間医療と同じように、ワクチンを打つときと皮膚が悪くなったときと骨折したときとでは異なる動物病院に行くのが正しいのです。こういった「獣医師の専門性」に対して気付きを与えられるプラットフォームを作りたいという想いから起業をスタートしたのでした。

上記のサービスはすでに売却し、現在はOptiVet(株)という会社で動物病院特化型の経営支援・動物医療人材専門の転職エージェント事業・ペット商材の代理店事業を運営しています。少しストレッチして、歯科衛生士向けの転職エージェント事業にもチャレンジしています。

経営支援事業において具体的には、数十の動物病院のGoogleマップ・公式LINE・HP管理/改善し集客に寄与するほか、病院内の人事評価精度・給与/賞与テーブルの策定・1on1導入支援、補助金/助成金の申請サポートなど幅広い支援を行っております。これを見ている動物病院関連の方がいたら是非お問い合わせください。

[URL] <https://opti-vet.jp/consulting/index.html>

[Mail] ryo sumikura@opti-vet.jp

XX

思い出の品が眠っていませんか？

1903年開校の逗子開成。この歴史を後世に伝えるためには、学校史資料を保存・活用していくことが重要です。母校には多数の資料が保管されていますが、十分ではありません。卒業生がお持ちの逗子開成に関するものが散逸・廃棄されてしまうのは残念でなりません。ご自身やご家族で逗子開成関連のものをお持ちの場合は、ぜひご寄贈いただければ幸いです。

お問合せは 逗子開成中学校・高等学校

校史編纂委員会：担当教諭 片山 健介

校友会担当者 柴田 一男(高21回)

ご連絡は校友会HP内のWebフォームからお願いいたします

Ssbアニメ企画株式会社
鈴木 公尚(高42回)



卒業したのが1990年3月。当時の逗子開成の思い出と言えば、徳間先生による学校改革が行われている真っ最中で、それまで以前よりも進学校に移行していくためのとても激しい時期でした。

そんな中、私は浪人を経て、工学院大学に進学をして先行していた化学系に進む予定でいたものの、同じ逗子開成の悪友に誘われ、アニメ・マンガの世界にどっぷりはまってしまいました。その結果、卒業後は、アニメのビデオメーカーに勤めることになりました。

その後、もっと知見を深めたいと思い、アメリカに留学。University of Southern California・School of VISUAL ARTという大学の大学院に入学して6年間アメリカ生活を送っていました。本来ならば、アメリカで仕事をするのがセオリーという事もあったのですが、当時ニューヨークの同時多発テロ事件に巻き込まれ、日本に帰ってくる事に。日本に帰ってきた後は、コンテンツ配信系、Web系と職を移しながら、そもそもの大学院の専攻のアニメーション業界に完全に落ち着いた形になります。複数社で経験した後、今は「Ssbアニメ企画」という自分の会社を作って、アニメの企画・製作・制作をプロデューサーとして行っています。

同時に大学や専門学校でも教壇に立ち、アニメのプロデュースに対しての概論も教えています。ちなみに私の今まで携わった作品も名前を検索すれば出てきますし、勿論その作品群だけではないのですが、私の人生の中でDM系アニメだけで100本近く、TVアニメだけでも10本近くプロデュース業務としてやってきました。

実は、逗子開成はエンタテインメント業界にも強かったりします。私のいるアニメ業界・ゲーム業界には、同じ業界に同期が10人近くおり、実際に仕事をしている中でも先輩、後輩と結構アニメ業界・ゲーム業界に従事している方々が多数見受けられます。なので、逗子開成で学ぶ皆さんの中で、もしアニメ・ゲームといった職業で働きたいと考えている人がいれば、是非トライすることをお勧めします。ただし、決して甘い世界ではないので、そこだけは覚悟を持ってもらえると嬉しかったです。やはり業界内で逗子開成の出身者に会うと嬉しかったですし、距離がぐっと縮まり、話しやすくなりましたので、是非我こそはという方はお待ちしております。

という事で、アニメ業界もゲーム業界もとても大変なイメージは強いですが、そんな業界にも同胞はいるのだと思いながら、興味を持っている人はいかがでしょうか。写真は、つい先日出張で行ったアメリカの母校の1つのUniversity of Southern CaliforniaのシンボルであるTommy Trojan像の前で撮ったものです。

神奈川県横浜市西区みなとみらい

TFI 045-350-7133

[URL] <https://ssbani.me/>

XX

ゆうゆうクロスナビへ寄稿しませんか

会報「開物成務」では卒業生の皆様の現在の活動や営みをお伝えする「ゆうゆうクロスナビ」のコーナーを設けています。

校友会HPにも掲載されますので、ぜひ活用してください。